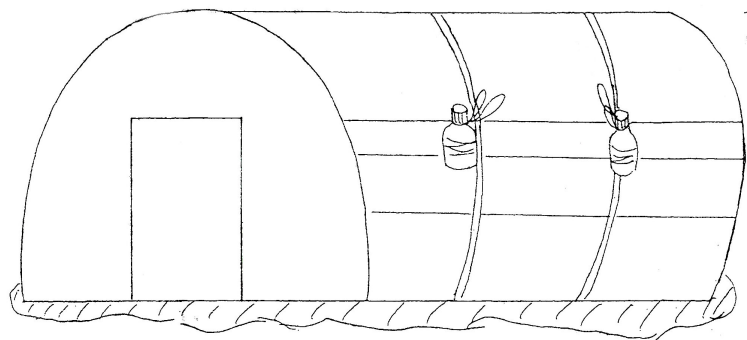


「キクタール」の使用例

ハケで塗る

樹にぶら下げる

窓にぶら下げる



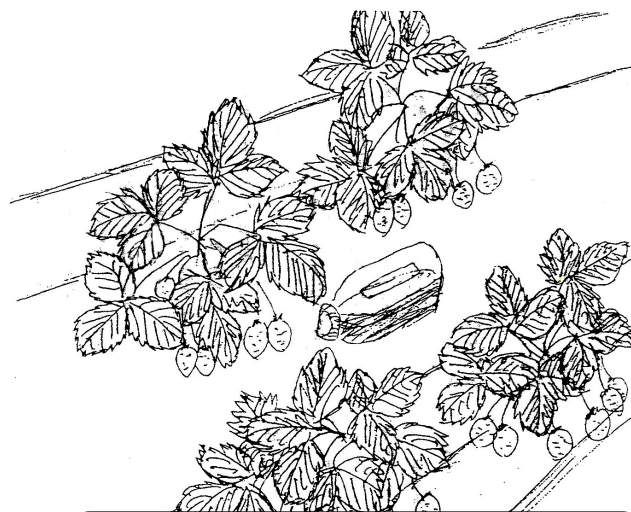
↑↑ ハウスのまわりにも ↑↑



りんご



とうもろこし



カッターでくり抜く

濃いタールの場合は、気温が低いと固まりますが、ハウスの中など温まるとゆるく、サラサラになります。

キクタール（液状・原液）
2〜3 cm位
乾いてなくなったらつぎ足す。



ペットボトルの上部に切り込みを入れて匂いを発散させる

3 ハウスの窓の近くに所々
ペットボトルをぶら下げる。

注意！

タールは粘性で詰まりやすいです。動噴や噴霧器の使用はできません。古くなったジョーロの先をはずして撒くなど簡便な器具でご試用下さい。衣服に付くと落ちませんのでお気を付下さい。

2 ハウスのパイプから10 cm位
離して5〜10 cm位の溝を
切ってキクタール原液（濃い
ほうのタール）を、ジョーロ
の先をはずしてぐるっと散布
し、その上に土をかけておく。

1 苗やトマトを植えてある
株間に5 m間隔で横にして
置いて匂いを発散させる。